

天彗龍はなに思いなにをみる

【紅魔】ラルア@黒き悪魔

【注意事項】

このPDFファイルは「ハーメルン」で掲載中の作品を自動的にPDF化したものです。

小説の作者、「ハーメルン」の運営者に無断でPDFファイル及び作品を引用の範囲を超える形で転載・改変・再配布・販売することを禁じます。

【あらすじ】

古龍バルファルクが自由気ままに旅をする

そんな話です

稀に戦闘描写があるかも？

おもに進めているのがるので投稿はかなり少なく不定期です

目次

第1章 飛竜種

第1話 「始まりの日」

1

第1章飛竜種

第1話「始まりの日」

第1話「始まりの日」

私はバルフアルク古龍だ、二つ名は紅い彗星（シヤア思いうかべたろ）

住処は高い『天界』だ

ふと思ったことがある

「他のモンスター達はどこでどんな生活してるのかな？つと…」

という事で私バルフアルクは旅をすることにした

他の奴らがどんななのかしりたくなってきたしな

そのうえ私という存在を知らしめたい（クス）

（補足だが弱めの奴らは出てこないぞ）

（そして基本大型モンスだ）

（リクがあれば気分次第でいくかもだがな）

少し雑談

（本編につながってる？）

バル「で：雑談相手があんたかい：ディア…」

ディア「気にしたら負けですといううか僕の他にも会いに行くのでしよう？」

バル「てかなんで私を見て驚かない…」

ディア「毎日上空通ってるの知ってますから」

バル「ダニイ!？」

ディア「驚きすぎです…」

バル「だつてえ：だつてえ…」

ディア「まあ…まあ…」（女性のあつかいは難しい…）

ディア「でなんで最初僕にしたんですか？」

バル「気分（）」

ディア「BA☆KA☆GE☆TE☆RU☆ZE」
バル「ひどくない？」

ディア「ひどいもくそもないですはい」（無慈悲）
バル「（ω・ω・ω）」

ディア「まあ…そのそれはおいといて…」
バル「うん…」

ディア「さて…話題が思いつかないですどうしましょう…」
おいまでディアメタいぞ

バル「じゃあ私とディアの紹介でよくない？」
悲報作者スルーされるこんな感じ←

では簡単なプロフィールをどうぞ…
バル「私からだな…」

バルファル

性別：女

種族：古龍種

天彗龍 別名紅き彗星

属性：龍属性

性格：明るい

今まで：引きこもっていて外をよく知らない

好きな食べ物：龍属性、お肉

嫌いな食べ物：その他の属性、野菜

好きなモンスター：分かんない

嫌いなモンスター：分かんない

次はディア

ディアブロス

性別：男

種族：飛竜種

角竜

属性：無属性

性格：荒いようなしっかり者

今まで：砂漠で主に暮らしていた

好きな食べ物：サボテン

嫌いな食べ物：ほとんどなし

好きなモンスター：どこにでも連れてってくれるセルレギオス

嫌いなモンスター：食事の邪魔するガレオス、ドスガレオス

こんな感じですよ○

バル「好きなモンスター、嫌いなモンスターはこれからみつけるの
さ」

ディア「そうですか」

バル「じゃ私はいくぜ」

ディア「よいたびを…」

バル「ありがとう」

そう言うとバルファルクは飛びどこかへ行ってしまいました